

3

働く仲間を地域社会で「つなぐ」取り組み

[1] 地域社会貢献活動の推進

2025年度補強方針

① 連合愛知助け合い運動・世界寺子屋運動の取り組み

児童養護施設の子どもたちに対する継続支援は、施設を卒業した後も相談できるような関係を作るための取り組みを始める。

② フードバンク活動の推進・ここあファームの取り組み

2つの「ここあファーム」を軌道に乗せる。特に「ここあファームHazu」においては、農作物の収穫を増やしフードバンクへ提供する。

① 連合愛知助け合い運動・世界寺子屋運動の取り組み

愛知県内の福祉施設や子ども食堂など、地域で支え合う事業を支援するため、「連合愛知助け合い運動」募金活動を継続展開し、募金目標額（組員1人あたり100円以上）の達成をめざして取り組む。また、新たに児童養護施設などを卒業した児童に対する継続支援について検討を進める。

新興国の識字率向上の一助として、書き損じはがきや各種金券を集約する世界寺子屋運動「書き損じはがきキャンペーン」に継続して取り組む。

両取り組みについては、全ての構成組織が参画するように働きかける。

「組織・財政運営に関する諮問事項への答申」を受け、地域社会貢献を目的とする基金を新設し、新たにに取り組む活動を検討する。

② フードバンク活動の推進・ここあファームの取り組み

フードドライブの取り組みは、メーデーの期間にあわせて継続して取り組む。また、全ての構成組織が参画するように働きかける。

「ここあファーム」の活動は、フードバンクへの農作物の提供や障がい者の就労支援、子どもたちの食育につながる農業体験イベントの開催に引き続き取り組む。

また、この取り組みを充実させるため、三河地方での「ここあファーム」設立を検討する。

③ 大学寄付講座による労働教育の推進

大学生に向けて、働くことやワークルール、労働組合の役割などに関する知識付与の場として、愛知県立大学にて「寄付講座」を開講し、構成組織および関係団体の協力を得ながら全15講座を実施する。

[2] 愛知県中央メーデーの開催

2025年度補強方針

愛知県中央メーデーについて2025年は、5月に開催する。

メーデーは働く者の祭典として、意義や歴史を確認するとともに、働く者の主張を広く社会にアピールすることを目的に2024年4月に開催する。

家族が楽しめるフェスティバルの盛り上げをはかるため、構成組織が一体となってメーデーに参画する。

[3] 文化・レク事業の推進

2025年度補強方針

家族参加型レクリエーションとして、2024年11月にミュージカル「バケモノの子」の貸切公演を開催する。また、「連合愛知クラシックコンサート」を2025年10月に開催する。

地域文化の振興と、クラシックに触れる機会を提供するため名古屋フィルハーモニー交響楽団による「連合愛知クラシックコンサート」を2024年10月に行う。また、家族参加型レクリエーションでは連合愛知を身近に感じてもらえる新しいレク事業についても検討を行う。

[4] 大規模災害への備え・ 災害ボランティアの取り組み

発生が予測されている「南海トラフ巨大地震」や、頻発する風水害などの自然災害に備え、愛知県や愛知県社会福祉協議会などの関係組織、また連合東海ブロックと連携強化するとともに、防災マニュアルや備蓄品、防災用品を常に整備していく。

また、地協において発災時に災害ボランティアセンターを運営する、市町村社会福祉協議会との連携を進めていく。災害ボランティアについては、連合本部や東海ブロックなどの要請にもとづき対応する。

[5] 平和活動・人権運動・国際連帯の推進

① 平和運動の取り組み

連合が取り組む平和4行動（沖縄・広島・長崎・根室）に参加し、平和の尊さを学ぶとともに、「原爆パネル展」を開催し、戦争や核兵器の恐ろしさを発信する。

② 人権運動の取り組み

部落解放愛知県共闘会議の活動に参画し、あらゆる差別をなくし人権を守るため、研修会など継続的に参加する。

③ 国際連帯の取り組み

労働文化交流協定にもとづき中国江蘇省総工会との交流をはじめ、国際関係団体と連携した取り組みを推進する。